

動く世の中、視点を変えれば見えてくるものがある。ホンネで言いたいことがある。



瓦ばん！

平成28年4月1日発行 季刊
発行責任者：根っから地元派 ばん よしはる
ban-4@ares.eonet.ne.jp

第34号

こんにちは、ばんよしはるです。皆さんお元気ですか。まだまだ寒暖の差が大きいので、体調管理に十分気をつけてください。「瓦ばん」を書いている今、三室山の桜の蕾が大きくなって本格的な春の到来を待ちわびているように思われます。

今回は、4月議会で審議した平成28年度新年度予算を中心に書かせていただきます。

まずはじめに、高齢者の皆さんの外出支援を目的とした、優待券の交付において、JR・奈良交通・タクシー券の「優待乗車券」又はふれあい交流センターいきいきの里「優待入館券」の交付に加え、健康増進の視点から新たにすこやか斑鳩・スポーツセンター「トレーニング機器利用券」を選択できるようになります。

これは、スポーツセンターのジムの利用者の状況判断させたもので、高齢者の方々の利用が多く、いきいきの里の入館券と同額ということもあり決定されました。

注目する点として今後、行政が押し進めていかなくてはいけない、住民生活部福祉課と教育委員会の垣根を越えた施策となります。

次に、新年度から順次町内3校の小学校のトイレの半分を洋式にすることが決定されました。数年計画になりますが、家の使い慣れた違うため、トイレが使いづらい児童にも快適に使うことが出来るようになります。

これは、行政が時代の変化に柔軟に対応していくことの意味があります。

斑鳩町役場は4月1日から組織が変更されます。

総務部に商工業や観光の分野が入り、福祉部が担当していた学童保育は教育委員会の所管になります。

住民生活部は健康福祉部と生活環境部に分かれることになります。

いままでの上下水道部は都市建設部に統合され一つの部になります。

今後、広報等で案内がありますが、慣れるまで少し戸惑いがあると思います。

これは、住民サービスを低下させないことが一番大切なことです。

今後、変更したことで上手くいかないことがあったときには、その部分だけ考え直すことも必要です。

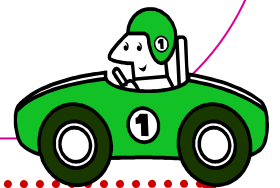
役場は字のとおり、役に立つ場所でなくてはなりません。

最後に新年度予算では、住民と行政の協働についての事業がたくさんありました。

これからは、皆さんが安心して暮らせるまちづくりを推進するために、多くの住民が行政と関わっていくことが必要になってきています。

今日より、少しでも明日が良くなると実感できる「まち」にするために！

まちの未来は、住民一人ひとりの想いで変えられるということです。



この「瓦ばん！」では町議会議員の毎日の中で感じたこと、活動や思ったことを紹介していきますので、皆様からのご意見・ご感想がありましたら、お知らせ下さい。宜しくお願いいたします。